



Newsletter

vol. 51

ぴあ・かもみーる日記「ナガシマスパーランド」●
18周年イベントリポート●
子どもシェルター全国ネットワーク会議2024●



パオの
現いま

ぴあ・かもみーる日記 「ナガシマスパーランド」

9月半ばのまだ暑さの続く頃、ぴあ・かもみーるに入所する2人の子どもたちと、パートナー弁護士2人と私の5人でナガシマスパーランドへ行ってきました。普段は朝に弱い子どもこの日ばかりは一度の声かけでしっかり起きてきました。予定通りの朝8時にぴあかもを出発することができ、開園から閉園まで遊びたい!という子どもたちの希望を叶えることができました。

遊園地は予想以上の暑さで情けないことに私が早々にダウンしてしまいました。でも復活するまで子どもたちは絶えず気にかけてくれ、優しさが身に沁みました。

行事に出かけると普段は見えない子どもたちそれぞれの個性がよく見えます。集団の中でなかなか自己主張しないAさんもこの日は控えめながらも「ゴーカートに乗りたい」と言い続け自分の希望を伝えてくれました。

一方でやりたいことをはっきり言ってくれるBさんはスチールドラゴンに乗りたかったようで私を誘ってくれました。私を気遣ったことなので大変申し訳なかったですが、体調的に厳しく断ったところ、Bさんはかなり悩んだ末に、弁護士の1人と2人で並びに行きました。その弁護士とは余り話をしたことがなく「2人では嫌だ」と話していたほどでしたが、やりたいことのためにちょっと妥協してみることができたようで、意地を張り続けず楽しむことを選んで良かったです。

2人とも思い思いに閉園時間ギリギリまで楽しみました。帰りの車中では「次はディズニーランドに行きたい!」とはしゃいでいました。この日の夕食は外食にして回転寿司へ。実はBさんがアルバ

イトをしているお店。Bさんはおすすめメニューを紹介してくれたほか、「今鳴った音はお会計を呼んでいるんだよ!」などと教えてくれ、私たちはそのお店に詳しくなりました。誰かに紹介してくれるだけでなくBさんが自信をもって働いていることを感じられる食事になりました。

ナガシマスパーランドはAさんが「行ったことがないから」とずっと希望していた行き先でした。何度も行事の候補に挙がってはなかなかタイミングが合わずにいましたが、今回実施することができて何よりでした。

ぴあかもで暮らす子どもたちには、それぞれ様々な経験と生活体験があります。子どもたちにとって初めてのことを一緒に経験できることは職員として喜びの一つです。今後も子どもたちの日常の暮らしを支えていくとともに、「やってみたくてやることがない」に応えられるような催しも企画していけたらと考えています。(スタッフ・K)

